

18
下
資料
聖徒伝 177

「感動をもつて 遣わされよう」

イザヤ書38～39章

ヒゼキヤの病 神の奇跡

アウトライン

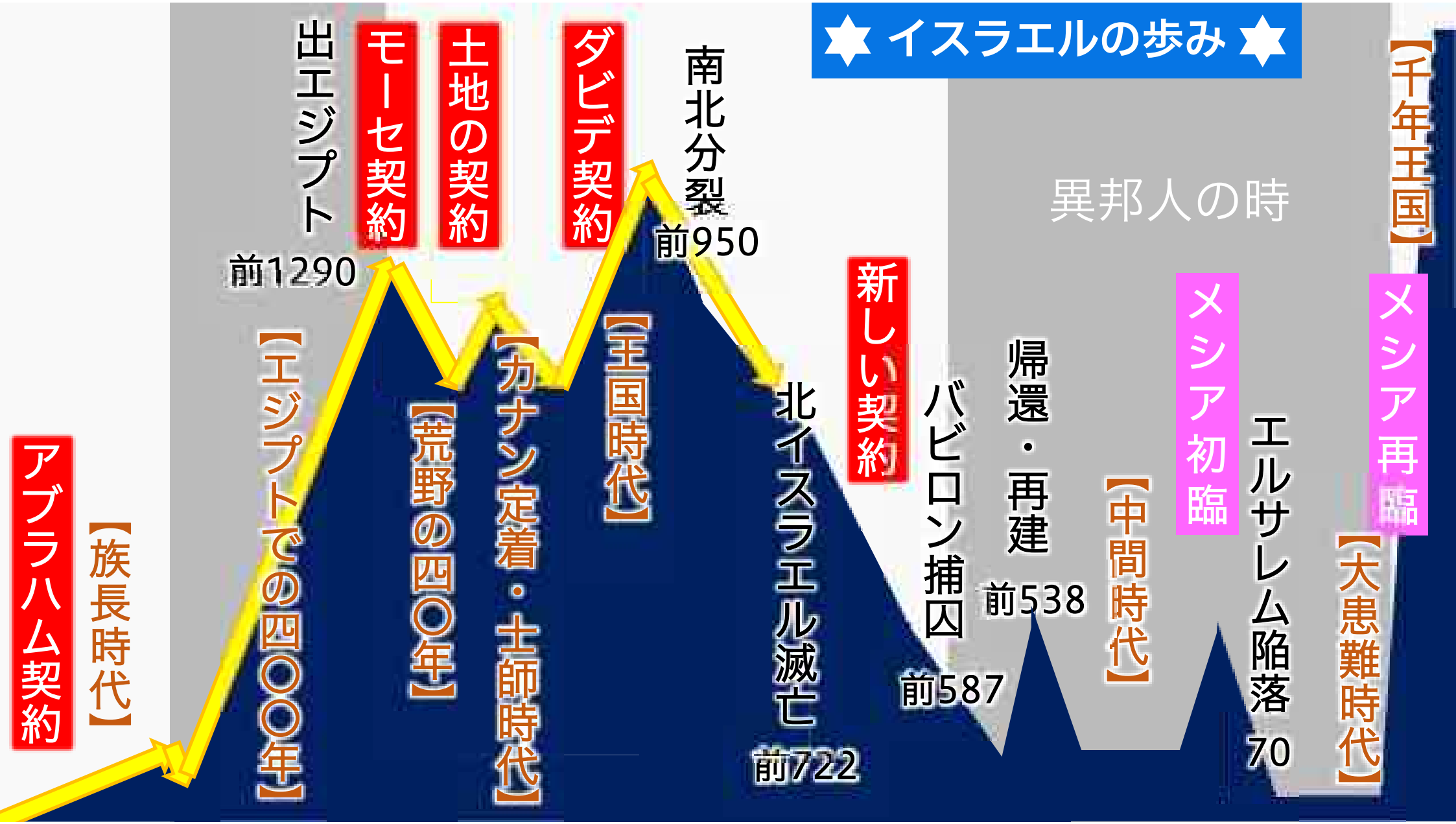
- 0. イントロダクション
- I. ヒゼキヤの病と癒やし 38章1～8節
- II. ヒゼキヤの賛歌 38章9～22節
- III. バビロンよりの使者 39章
- IV. まとめと適用

真実の感動をもって
使命に遣わされよう



古代ローマの日時計

★ イスラエルの歩み ★



ヒゼキヤ王の生涯

- 25歳 …王に即位。すぐに神殿の修復に着手。
南王国の信仰復興に取り組む。
- 31歳 …北王国が滅亡・アッシリア捕囚
- ? 歳 …地下水道建設。都の防備を固める。
- 39歳 …アッシリアによる南王国への侵略。
…病に伏せる。奇跡的に回復。
…バビロンの使者が来訪。
…アッシリアのエルサレム包囲。神が撃退。
- 42歳 …マナセ誕生
- 54歳 …死去

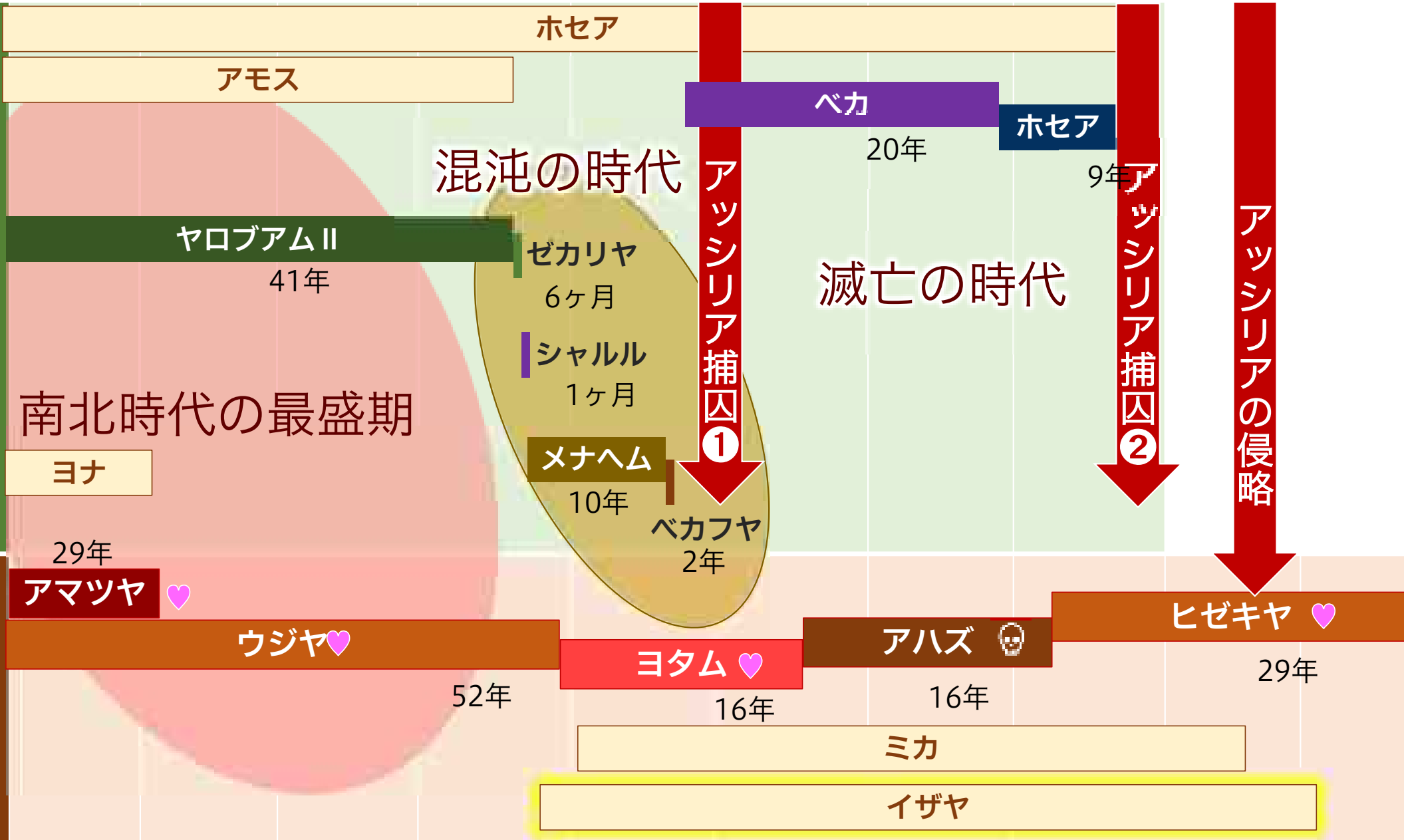


同時進行?!

ヒゼキヤの地下水道

北王国イスラエル

南王国ユダ





1. ヒゼキヤの病と癒やし

イザヤ書38章1～8節

病の床で イザヤの預言 イザヤ38:1

そのころ*、ヒゼキヤは病気になって死にかかっていた。そこへ、アモツの子、預言者イザヤが来て、彼に言った。「【主】はこう言われる。『あなたの家を整理せよ*。あなたは死ぬ。治らない。』」

*アッシリアの侵略が迫っていた。

*家督の相続を考えよということだが…

➔この時点でヒゼキヤには息子がいない!!



病の床で ヒゼキヤの涙と祈り イザヤ38:2~3

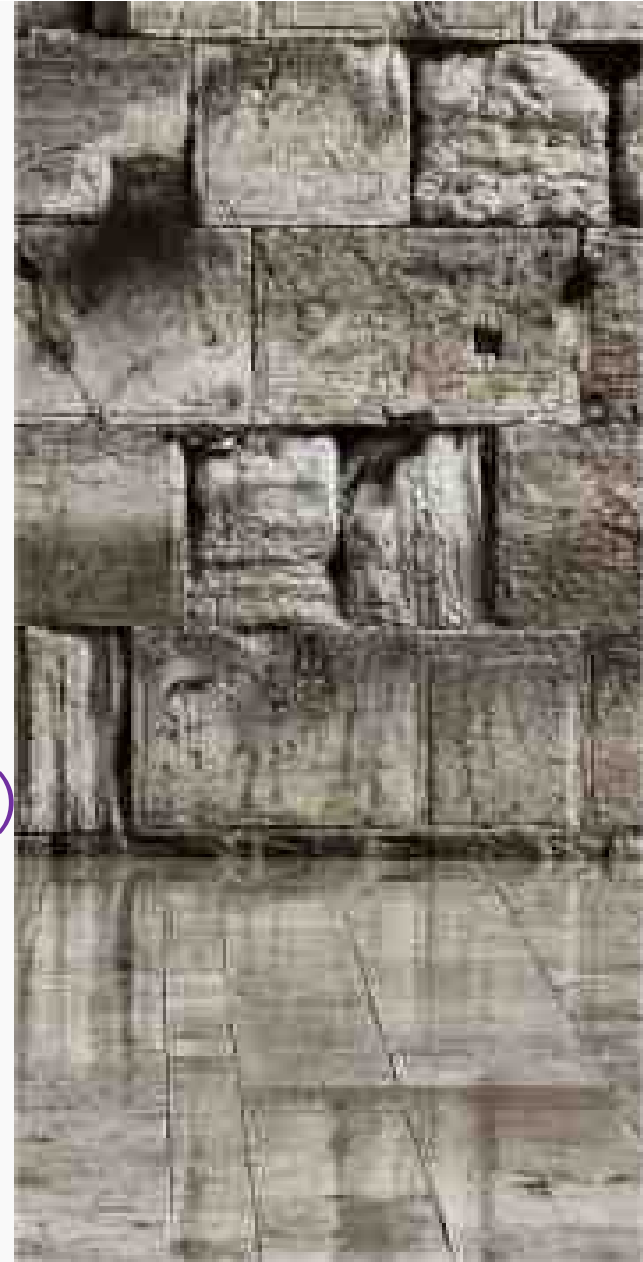
ヒゼキヤは顔を壁に向け、【主】に祈った。

「ああ、【主】よ、どうか思い出してください。
私が、真実と全き心をもって、あなたの御前に
歩み、あなたの御目にかなうことを行ってきた
ことを。」ヒゼキヤは大声で泣いた*。

*イザヤが中庭を出ないうちに神が応答(II列20:4)

■病の理由は不明。ヒゼキヤの祈りは**御心**に適った。

➡跡継ぎのないままヒゼキヤが死ねば、
ダビデの系譜は断たれてしまう!!



病の床で 主の言葉 イザヤ38:4~6

そのとき、イザヤに次のような【主】のことがあった。

「行ってヒゼキヤに告げよ。『あなたの父**ダビデの神***、【主】はこう言われる。わたしはあなたの祈りを聞いた。あなたの涙も見た。見よ。わたしはあなたの寿命にもう十五年を加える。

わたしはアッシリアの王の手からあなたとこの都を救い出し*、この都を守る。』」

***ダビデ契約**のゆえに、ヒゼキヤは癒やされた。

*この通りに成就(イザヤ36~37章)



病の床で 約束のしるし イザヤ38:7~8

次のことが、あなたへの【主】からのしるしである。【主】は約束したこのことを成就する。

見よ。わたしは、アハズの日時計に落ちた時計の影を十度後に戻す*。』』すると、日時計に落ちた日が十度戻った。

*進むか、戻るか。求められた選択(Ⅱ列20:9)

➔ 信仰者にはどちらの選択がふさわしい？

■ ヨシュアの時には、時が止まった(ヨシ10:13)

➔ 史上かつてない奇跡を望んだヒゼキヤ





II. ヒゼキヤの賛歌

イザヤ書38章9～22節

干しイチジク

旧約聖書の死生観

■ 旧約時代、死者は皆、**陰府**(よみ)に下った。

① 信仰者 → 陰府の中の「**アブラハムのふところ(パラダイス)**」

② 不信仰者 → 陰府の「**ハデス、アバドン**」…火と渇きが絶えない。

■ **死は、罪の結果・神との断絶。** → 死は滅びにすぎず、希望はない。

■ 主への信仰が、**神との和解・命の回復**をもたらす。

肉体が死んでも、神の内に生かされていくところに希望がある。

■ 死ぬか。生きるか。**永遠に滅びるか。永遠に生きるか。**

→ 神に回復されて(生きて)いるからこそ、命の喜びがある。

【死後の世界】

～イエスの復活前～

天

神様を信じた人

神様を信じなかった人

シ
オ
ー
ル

陰
府
(
よ
み
)

パラダイス
アブラハムのふところ

アバドン、ハデス

アビス
タータラス

ゲヘナ

【死後の世界】

～イエスの復活後～

神様を信じた人



神様を信じなかった人



ゲヘナ

【死後の世界】

～最後の裁きの後～

神様を信じた人

新天新地
天のエルサレム

生きるか？

神様を信じなかった人

ゲヘナ
火の池

死ぬか？

賛歌 ヒゼキヤの嘆き イザヤ38:9～10

ユダの王ヒゼキヤが病気になって、その病気から回復したときに記したものの。

—— 私は言った。生涯の半ば*で私はよみの門に入る。私は残りの年を失ってしまったのだ。

*39歳。在位11年。



賛歌 死人の国の住人 イザヤ38:11

私は言った。私は【主】を、生ける者の地で【主】を見ることはない。私は、死人の国の住人とともにあり、再び人を見ることもない。

【新共同訳】イザヤ38:11

わたしは思った。命ある者の地において主を見ることもなくなり 消えゆく者の国に住む者に加えられ もう人を見ることもない、と。



賛歌 近づく死期 イザヤ38:12

私の住まいは牧者の天幕のように引き抜かれ、私から取り去られた。私は、機織りのように自分のいのちを巻いた。主は私を、機から断ち切られる。昼から夜へ*と、あなたは私を終わりに近づけられます。

*一日のうちに



賛歌 叫びと呻き イザヤ38:13~14

私は朝まで叫びました。主は雄獅子のように私のすべての骨を砕かれます。昼から夜へと、あなたは私を終わりに近づけられます。

燕や鶴のように私は泣き、鳩のようにうめきました。私の目は上を仰いで衰えました。主よ、私は虐げられています。私の保証人*となってください。

*負債の返済を肩代わりする保証人



賛歌 苦しみの年月 イザヤ38:15~16

何を私は語れるでしょう。主が私に語り、主が自ら行われたのに。私は自分のすべての年月、自分のたましいの**苦しみの**ゆえに、**ゆっくりと(静かに)**歩んで行きます。

主よ、**これら(苦しみ)**によって人は生きるのです。私の霊のいのちも、すべて**これら(苦しみの年月)**に従っています。どうか私を健やかにし、私を生かしてください。





賛歌 平安 イザヤ38:17

ああ、私の味わった苦い苦しきは
平安のためでした。あなたは私のた
ましいを慕い、滅びの穴から引き離
されました。

あなたは私のすべての罪を、
あなたのうしろに投げやられました。

■滅びからの救いは、
罪の赦しによってもたらされる。

賛歌 生きている者だけが イザヤ38:18~19

よみはあなたをほめたたえず、死はあなたを賛美せず、穴に下る者たちはあなたの真実を待ち望みません。

生きている者、ただ生きている者だけが、今日の私のように、あなたをほめたたえます。父は子らにあなたの真実について知らせます。



賛歌 奏者 イザヤ38:19～20

【主】は私を救ってくださる。
私たちは生きている日々の間、
【主】の宮で琴を奏でよう。



賛歌 しるし イザヤ38:21~22

イザヤは言った。「ひとかたまりの干しいちじくを持って来させ、腫物の上に塗りなさい。そうすれば治ります。」

ヒゼキヤは言った。「私が【主】の宮に上れるしるしは何ですか。」

■ヒゼキヤの賛歌の続きと考えるなら、
神の奇跡を思い起こさせて終えている。

→**神の奇跡に学ぶべきことは何だったか？**

奇跡に傲慢になったヒゼキヤの姿が次章



Ⅲ. バビロンよりの使者

イザヤ書39章



来訪者 バビロン王の使者 イザヤ39:1

そのころ、バルアダンの子、バビロンの王メロダク・バルアダン*は使者を遣わして、手紙と贈り物をヒゼキヤに届けた。彼は病気だったが元気になった、と聞いたからである。

*北王国を滅ぼしたサルゴン II 世時代に王位を追われる。

エルサレム包囲の2年前(BC703)、センナケリブ王に反旗を翻す。



来訪者 歓迎 イザヤ39:2～3

ヒゼキヤは彼らを喜び*、宝庫、銀、金、香料、高価な油、一切の武器庫、彼の宝物倉にあるすべての物を彼らに見せた。ヒゼキヤがその家中、および国中で、彼らに見せなかった物一つもなかった。

預言者イザヤはヒゼキヤ王のところに来て、彼に尋ねた。「あの人たちは何と言いましたか。どこから来たのですか。」ヒゼキヤは「遠い国、バビロンから私のところに来ました」と答えた。

*アッシリアに敵対する者同士、同盟を締結？



来訪者 傲慢と虚栄 イザヤ39:4

イザヤは言った。「彼らはあなたの家で何を見たのですか。」ヒゼキヤは答えた。「私の家の中のすべての物を見ました。私の宝物倉の中で彼らに見せなかった物は一つもありません。」

【背後にあった神の試み】 Ⅱ 歴32:31

「神は彼(ヒゼキヤ)を試みて、その心にあることすべてを知ろうとして彼を捨て置かれた」

■ ヒゼキヤは奢り高ぶり、将来の敵に手の内をすべて見せてしまった。



← 慢心した王の姿

来訪者 滅亡の預言 イザヤ39:5～6

イザヤはヒゼキヤに言った。「万軍の【主】のことばを聞きなさい。

見よ。あなたの家にある物、あなたの父祖たちが今日まで蓄えてきた物がすべて、**バビロンへ運び去られる日々が来る***。何一つ残されることはない——【主】は言われる——。

***115年後のバビロン捕囚の預言(BC586)**




来訪者 悔い改め イザヤ39:7~8

また、あなたが生む、あなた自身の息子たちの中には、捕らえられてバビロンの王の宮殿で宦官となる者がいる。」

ヒゼキヤはイザヤに言った。「あなたが告げてくれた【主】のことばはありがたい。」彼は、自分が生きている間は平和と安定があるだろう、と思ったのである。

【Ⅱ歴32:26】しかし、ヒゼキヤがその心の高ぶりを捨ててへりくだり、彼もエルサレムの住民もそうしたので、【主】の御怒りは、ヒゼキヤの時代には彼らの上に臨まなかった。



悔い改めにより
この時代の裁きは
免れた



IV. まとめと適用

真実の感動をもって 使命に遣わされよう

イザヤの意図を考える ①

■時系列では、ヒゼキヤの病・バビロンの来訪は、エルサレム包囲前。
→なぜ、こちらが後に記されているのか？（列王記、歴代誌も）

①「アッシリアの侵略・エルサレム包囲」は、段階的に起こった？
使者も二度来訪。アッシリアは各方面で戦線を拡大し戦闘中。
→この間にヒゼキヤは病を発症、バビロンからの使者も。

②バビロンからの使者の出来事は、バビロン捕囚につながる出来事。
→南王国に迫る滅亡の預言を際立たせるため？！

40章からの後半のテーマは、捕囚の苦難を前提とした希望

イザヤの意図を考える ②

- 善王ヒゼキヤですら、高慢から罪を犯した。
→バビロン捕囚の呼び水となった。
- 南北イスラエルの滅亡は、何度も幾人もの預言者が告げてきたこと。
→有能な善王でも、**神の計画を変える術はない。**
- ヒゼキヤの病の癒やしは、それが**主の御心に適うことだったから。**
→ダビデ契約が守られ、ダビデの王家が存続した。
→癒やしと奇跡の後の高慢が、バビロン捕囚の糸口を与えた。

イザヤに見るイスラエルの影・罪のループ

【イザヤの足どり】

①癒やし・奇跡 → ②高慢 → ③裁き → ④悔い改め → ⑤回復…

【イスラエルが繰り返した負のループ】

①劇的な出エジプト → ②荒野で不信仰に陥り → ③主に裁かれ
→ ③悔い改め → ④回復し → ⑤再び不信仰に陥り…

■ 善王ヒゼキヤですら逃れられなかった**負のループ**こそ、罪の本質。
人は誰もが、くるくるまわる、カゴの中のハムスターのよう。

負のループを最終的に断ち切るのが、世の終わりの大患難

罪と死の負のループからの救い主

■ イザヤ書後半で際立っていくのが、来たるべき**メシア**。

→ 罪と死の負のループに、終止符を打たれる方。

① **初臨のメシア**…十字架で罪を贖い、復活し、救いの道を拓かれた。

② **再臨のメシア**…大患難で世をきよめ、イスラエルを回心に導き、地上の悪を一掃し、最終的に罪と死も滅ぼされる。

■ 世の終わりに向かうほど、負のループは連なり、闇は深まる。

深まる闇の中で、ただ一つ輝きを増していく光が**メシア**。

→ イザヤ書後半の最大のテーマが、**メシア**

クリスチャンがたどるべき 正のループ

- ①いのちの御言葉なる**主イエスに信頼し**
- ②**主の御霊**に満たされて行動し
- ③**天の父なる神によって、**変えられていく

※大前提は、日々、主の御言葉に親しみ、
聖書の学びを深め、実行していくこと。

★ 出来事ではなく、主ご自身に揺り動かされよう ★

- 心が死に、感動に飢えた人間は皆、ドラマを求めているのだろう。劇的な癒やしや奇跡を求めるのは、人の性(さが)。
- 人の感動は、一時のものにすぎないと聖書は突きつける。出来事ではなく、**主の約束の御言葉**にこそ突き動かされていこう。
- 世が闇に閉ざされても、**主の御霊**が私の心をふるわせつづける。身動きのとれない状況でも、**主**が私の霊をふるい立たせる。
- 人と世には、絶望しかないと深められる自覚の中で、**ただお一人のキリスト**に、信頼と希望を置いて命を得よう。

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

わる い きせき できごと
よいことも悪いことも、癒やしも奇跡も、出来事にすぎません。

しゅ じしん わたし こころ れい ゆ うご
どうか、主ご自身が、私の心と霊を揺り動かしてください。

なに しゅ みことば ゆ
何よりも、主のいのちの御言葉に、揺さぶられていきますように。

しんじつ かんどう あた わたし しめい つか
真実の感動をもって、与えられた私の使命に遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」